

逸見廣 ハダ 小説家、ドイツ文學者。明治二十二年一月十九日山形縣  
生れ、昭和四十一年十一月二十三日歿（八十九―九二）。大正十五年早  
稻田大學文學部獨文科卒。早稻田高等學院教頭、早大教授。在學中井  
葉野篤三、加納幸雄等と同人誌『朝日』發刊、昭和二年『新正統派』同  
人、八年『文學黨員』創刊。

譯著書『シルレル 正義の書』（編、昭和十一年四月、二十五年、再刊。  
十五年四月、二十日金座堂「人生叢書」）、ルドルフ・ビンゲインゲ  
作『ナチス新鋭文學選集』（共譯、昭和十六年二月、二十八日春陽堂）、  
『ゲーテの書』（編、昭和十七年四月、二十日金座堂）、『青春の告白』  
（昭和二十二年十月一日民衆社「ニューデカメロン叢書・ロシ」）、  
『現代日本文學概観』（昭和二十二年十一月一日日次社）、『逸見廣  
選集』（昭和四十四年一月十九日校倉書房）等。

逸見 廣選集